

令和元年度 第12回石岡市ふるさと再生会議 会議録

1 会議の名称

令和元年度 第12回石岡市ふるさと再生会議

2 開催日時

令和元年12月23日（月）午後2時～

3 開催場所

石岡市役所 市本庁舎2階 201会議室

4 出席者 10名

5 議事録（要旨）

（1）開会

（2）会長挨拶

（3）議事

1) 「まち・ひと・しごと創生石岡市人口ビジョン」（素案）について

2) 「第2期まち・ひと・しごと創生石岡市総合戦略」（素案）について

【会長】 事務局より資料1，資料2の説明をお願いします。

【事務局】 資料1，資料2 説明

【会長】 ご意見，ご質問あればお願いします。

【委員】 定住人口という形にこだわらず，町と関わりのある人を増やしていくというのは新しい考えとして良いと思う。

【委員】 P5の数値目標について。有効求人倍率の目標値が1.0以上となっているが，これは前々から引き続きということか？

【事務局】 5年前に策定した総合戦略の時点で現状値が0.71だったため，目標を1.00以上と設定した。5年間で1.18となり，目標値は越え，現状1.0以上になっている事は承知しているが，担当課と相談した結果「1.0以上を維持する」ということで設定した。

【委員】 平成27年度の頃，0.85や0.94など悪かった時期に設定したのだと思うが，石岡市でも現状は1.18，茨城県で見ても1.6を越えている。一般的に有効求人倍率は1.5倍が理想の数値と全国的に言われている。現状が1.18なら目標はもう少し数字を上げて良いのではないか。

【会長】 雇用率は景気に左右されると言われているので設定が難しい。貿易戦争の影響で景気は悪くなっている。こういったことから，有効求人倍率は下方

に圧力がかかると読み取れる。その時に国はもちろん政策を打つが、その場合に市町村でなにができるのか？難しいところではあるが……。

【委員】 1.5 は厳しいとしても、1.0 のままで良いのかというと、やはりやや疑問がある。

【事務局】 担当課と相談して見直しします。

【会長】 続いて、何かありますか。

【委員】 P6 の就職しやすい環境づくりの部分。高校生の就職に関しては、おそらく企業側のほうが厳しい状況。地域の高校生をいかに地元で就職させるか、ということになると思うが、企業側からすると高校生が取れない。現在、高校生の数は減っていて、なおかつ進学率が上がっている。製造業は新卒として高校生を取りたいという思いがあるが、製造でも学卒を採用するという方向に切り替えていけないといけない。昔は中卒で就職、それがだんだん高卒で就職が当たり前になって、今度は学卒で初めて就職という流れになっている。そういった世の中とちょっとずれがあると感じる。

【会長】 例えば地元の高校生を採用した企業に対し一時金を支給するなどの制度はどうか？

【委員】 逆に企業は高校生が欲しいのに取れない、地元でとれないから全国に求人を広げている状態。

【会長】 企業より、個人（就職をする本人）に就職支度金等を出した方が良いということになる。設定値がずれている。工業団地やハローワーク等にヒアリングを実施し、精査したほうが良い。

【会長】 他には何かありますか。

【委員】 各種項目に KPI の記載があるが、前の時の KPI については考慮しているのか？ぱっと見で実行性があるのか、過去の実績の記載がある部分とない部分があり、どう判断すれば良いのか、わかるようにした方が良いのでは？

【会長】 別紙で KPI を記載するなど、過去の実績値が載っている資料を検討します。

【委員】 就職しやすい環境づくりの項目について。高校二年生を対象にした、地元の企業を早めに知ってもらうという施策に関しては、これまで高校三年生の未就職者等を対象に行っていたが、二年生に対しては今までとは違う新しい施策という扱いでこのまま載せておいても良いのかなと思った。

【委員】 （前に発言した）委員のご意見も理解できるが、ちょっと視点が違っている。今回の場合、高校生がなかなか就職できないという内容に読めた。今は逆に企業のほうが高校生を欲しがっているのに取れないという現状。となると他から求人を取らざるを得ない状況になってしまう。結果、石岡では高校を卒業しての就職口がなくなるという話になってくると思う。

【会長】 人口ビジョンの面で、18 歳前後の人口がかなり下がる。地元で高卒で就職

してもらふ施策を打たないと野心的な数値は実現できない。これについては議論しないとイケない。やるかやらないか。やらないなら計画をもっと緩やかにしなければならないし、6万人を目標とするならもっと大きな施策を考えなければならない。個人にインセンティブを配布するなど、採用する子供たちへの支援も考えていく必要がある。

【議員】 2) ③農産物のブランド化・6次産業について。5品とあるが、何か決まっているのか。

【事務局】 今後5年間で5品作っていきたいと思っている。

【会長】 ブランド化の前に、品質表示について考えていくのも良いのではないか。

【委員】 ②既存農林業者の経営環境改善について目標が小さすぎるのではないか。見通しが甘い。5倍程度にしなければならないのではないか。

【会長】 それについては精査していただきたい。

【会長】 基本目標2について、ご意見があればお願いします

【委員】 P9「(3) 具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI) 1) 交流人口の拡大②観光情報発信事業」について、海外への情報発信と記載があるが、具体的にどのようにPRをしていくのか。例えば、市でSNSを活用した情報発信などを行うのか。

【会長】 海外向けの情報発信について具体策はあるか。

【事務局】 海外への情報発信については、市が既に持っているSNSアカウントを利用した発信もあるが、インバウンドファームツアーの参加者数がKPIにあるように、海外の旅行会社やフォロワーの多い海外インスタグラマーを招待し、市の魅力を自国で発信していただくことを想定している。近隣では、笠間市が台湾との連携し観光振興を行っており、同様の取組の検討も含めて実施していきたい。

【会長】 本件について、補足すると行政よりもメディアやインフルエンサーの方が影響力は強い。具体的な国も絞って記載した方が良いだろう。仙台市ではタイ・台湾・韓国など対象国を絞っている。石岡市は何もないので、仙台市や笠間市に勝つのは難しいだろう。これは事務局の宿題とするが、具体的に進めることを想定してピックアップする必要がある。ポイントは親日的な国を対象とすることである。

ほかにご意見はないか。

【委員】 戻るが、P7「(3) 具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI) 3) 商業の振興と中心市街地の活性化①まちづくりの担い手の育成」に、例えば土浦市の駅前図書館の設置や流山おおたかの森駅周辺の子育て支援施設の設置などのように、具体的な案はあるのか。また、P7「(3) 具体的な施策と重要

業績評価指標（KPI）1）交流人口の拡大④地域ブランドの確立とPR」はまだ具体案がないとのことだが、食品の中では例えば福来みかんや酒、赤ねぎ、他にも水車杉線香なども考えられるだろう。

【事務局】 中心市街地の活性化については公共施設の集約化も含め検討中であり、今後も進めていくところである。地域ブランドについては、経済部で検討しており、福来みかんや赤ねぎのようなものを洗い出している。また、石岡セレクトという認証事業もあるように石岡ブランドの土産物を選定しており、今後石岡市オリジナルの物品をPRしていきたい。

【会長】 基本目標3について、ご意見はないか。

【委員】 「1）結婚しやすい環境づくり」についてだが、出会いの場の創出に関するイベントはどこの地域でも実施していると思う。集まってパーティーではなく、体験型のイベントやレクリエーションを通して出会いの場づくりをすれば良いのではないか。また、参加費用に男女差があることにやや疑問がある。男女関わらず若者の集まる場を提供すると良いのではないか。

【会長】 ほかに、ご意見はないか。

【委員】 「2）安心して妊娠出産ができる環境づくり」についてだが、今石岡市には産科が必要である。市外に出なければならぬ問題は大きく、早期解決が必要である。

【会長】 ほかに、ご意見はないか。

【委員】 「4）教育環境の充実」についてだが、高校・中学生が地域に誇りを持つように、特色・キャッチフレーズを石岡市として打ち出せたら良いと思う。

【会長】 事務局、どのような特色にしたいか。

【事務局】 石岡市はふるさと学習を小中学生向けに、実施している。

【会長】 ほかに、ご意見はないか。

【委員】 P14「（3）具体的な施策と重要業績評価指標（2）安心して妊娠出産ができる環境づくり②育児休業や職場復帰を後押しする環境づくり」でくるみん認定企業数を増やすための取組・支援を市は実施しているのか。

【事務局】 くるみん認定を目指すという組織体はないものの、働き方改革に関して企業とのつながりを形成しつつあり、商工会議所や工業団地などの企業体に対して情報提供をしている。また、子育て応援企業等の情報発信について、市内の取組企業の紹介を積極的に行うことで、実施しやすい環境づくりをしている。

【会長】 ほかに、ご意見はないか。

【委員】 P14「3）子育て支援の充実」についてだが、子育て支援が充実している地

域では、その地域で結婚し子育てをしようという意識が強くなると思うので、積極的に PR すべきだろう。

【会長】 ほかに、ご意見はないか。

【委員】 結婚して子育て、という話がメインとなっているが、石岡市においてひとり親世帯は住みやすい環境なのか。手厚すぎる援助によりあまり働きすぎない方が良く、といった話も聞く。他地域との比較は行っているか。

【事務局】 具体的に比較は行っていないが、石岡市においては子育てで必要になる予防接種の費用等については、どの子育て世帯にも支援を行っている。

【会長】 参考例として私が地方創生の座長をしている宮城県富谷市の例を挙げるが、教育の特色として、ユネスコスクール認定を市として取り組んでいる。そこで、石岡市では SDGs を盛り込んだ学校教育などができないだろうか。ふるさと学習は県内で多くの市町村が既に取り組んでいることから、ユネスコスクールや SDGs などの取組みがよいだろう。基本目標 3 についてご意見がなければ、基本目標 4 について、ご意見はないか。

【委員】 1) 生涯現役の推進について、乗合タクシーの土日利用や高齢者が短時間でも働けるような仕組み作りについて出来ればと思う。

【会長】 高齢者のキャリアサポートといった点だと思うが、ハローワークと石岡市が連携して相談窓口を半期ごとに設けるなど良いのではないか。
ほかに、ご意見はないか。

【委員】 P18①地域コミュニティ（自治会等）の活性化について、高浜地区は小学校の廃校によるコミュニティの衰退が危惧されている。

【会長】 小学校の適正配置については、県も絡む問題であり、単独での解決は難しい。難しい課題だが、子どもが減少する中、コミュニティを維持するための仕組み作りは考えていく必要があるだろう。
ほかに、ご意見はないか。

【委員】 P19③安全安心なまちづくりについて交通事故発生件数などの KPI の記載があるが、県平均なども表記できないか。

【会長】 参考値としてだと思うが、別紙など検討していただければと思う。
ほかに、ご意見はないか。

【委員】 P16「1）生涯現役の推進」の記載があるが今後保育施設などの設置が予定される中、そういった所で高齢者と子どもの交流の仕組み・仕掛け作りができれば良いのではないか。

【会長】 異世代交流という話だと思うが、これは子どもと高齢者ともにメリットのある内容である。ほかに、ご意見はないか。

【委員】 地域コミュニティの活性化について、地域コミュニティの形成は非常に重要だと感じた。地域のつながりをアピールできればと思う。

- 【会長】 ほかに、ご意見はないか。
- 【委員】 小中学生に地域に対して興味を持ってもらうためには、アプリやゲームが有効なのではないか。
- 【会長】 ほかに、ご意見はないか。
- 【委員】 1) 生涯現役の推進で生涯現役プラチナ応援カード登録者数を増やすことが KPI として挙げられているが、カード登録者数を増やすだけでなく、ポイントを使える店舗・施設などを見直し・増やしたら良いのではないか。
- 【会長】 現在のポイント利用可能な場所はどのようなところがあるのか。
- 【事務局】 市の公共施設・温浴施設だけでなく、市内の商店での利用もある。より広く使えるようになると魅力が高まると考えるので、検討したい。
- 【会長】 加盟店にとってのインセンティブも考えていくと良いだろう。
ほかに、ご意見はないか。
- 【委員】 P18「3) 安全安心な生活環境を維持・向上②移動手段の検討」について、市内主要公共交通機関の利用数については、現状よりも増やすという KPI なのか。
- 【事務局】 直近（平成 30 年度）の実績は 7,794 人である。人口減少などの影響も加味しながら、交通網の維持をしつつ現状維持・微増を目指す設定値である。
- 【委員】 石岡市だけではないが、バスは民間営業が殆どで難しいところだが、電車とバスの時刻がリンクしておらず不便な部分がある。使い勝手の良い公共交通となるように市が支援できないか。
- 【会長】 日本では都会以外の課題だろう。今後の国の法改正の動向を注視することや特区の導入など様々な可能性を考えていくと良いだろう。その他なければ、私から一点、P20 の②先進技術を活用した効率的な行政運営は期待したい。全体を通して他に意見はないか。提案だが、次回は石岡市の部長級の方々をオブザーバーとして招集するについてご検討いただければと思う。

(4) 閉会

以上